

2010年 環境報告書

NECインフロンティア東北株式会社

自然との共存共栄のために

目次

| | |
|----|--------------------|
| 2 | ISO14001認証登録 |
| 3 | 社長挨拶 |
| 4 | 会社概要 |
| 5 | 環境方針 |
| 6 | 環境管理推進体制 |
| 7 | 環境負荷概要 |
| 8 | 2009年度活動報告 1.目標と結果 |
| 9 | 2.資源循環 |
| 10 | 3.資源有効利用 |
| 11 | 4.リスクミニマム |
| 12 | 5.地球温暖化防止 |
| 13 | 6.グリーン化 |
| 14 | 7.地域社会貢献 |
| 16 | 環境コミュニケーション |
| 17 | 教育・訓練 |
| 18 | 環境会計 |
| 19 | 2010年度 環境目標 |
| 20 | 環境活動の主なトピックス |

ISO14001認証登録状況

当社は、1999年3月に財団法人
日本品質保証機構(JQA)の認証を
取得しました。

2005年2月に新規格2004年度
版に対応したマネジメントとし更新。

2007年11月には日本電気株式会
社に統合。

(JQA - EM0348を
JQA - EM3476に統合)



社長挨拶

NECインフロンティアは、環境と調和した技術開発をもとに、環境にやさしい生産と販売活動を通して、人間性豊かな社会の実現に貢献する企業を目指し、グループ全社を挙げてCO2削減をはじめとした環境保全活動を推進しております。

NECインフロンティアグループの主要生産工場であります当社におきましては、環境性能の優れた商品を最小の環境負荷で生産し、お客様にご提供することにより、地球環境の保全に貢献することを重要な企業の社会的責任と捉え、日々活動しております。この環境報告書を通して、私たちの環境経営活動に対し更なるご理解と、皆様の忌憚のないご意見を賜りたく、お願い申し上げます。



NECインフロンティア東北株式会社

代表取締役社長 **加登 達也**

会社概要



アクセス

白石蔵王駅より 徒歩10分

白石I.Cより 自動車20分

| | |
|------|---|
| 会社名 | NECインフロンティア東北株式会社 |
| 所在地 | 宮城県白石市旭町6丁目1番地 |
| 設立 | 1981年8月10日(昭和56年) |
| 操業 | 1982年8月2日(昭和57年) |
| 代表 | 社長 加登 達也 |
| 資本金 | 4億円(NECインフロンティア全額出資) |
| 売上高 | 266億円(2009年度) |
| 生産品目 | 通信機器・情報機器 |
| 面積 | 敷地 66,000m ² (20,000坪) 建坪 24,000m ² (7,200坪) |
| 従業員 | 401名(2010年4月1日現在) |

環境方針

基本理念

我が社は、環境と調和した人間性豊かな社会の実現のために、経営理念及び環境マネジメント活動の環境方針に基づき、環境保全に配慮した企業経営を目指します。

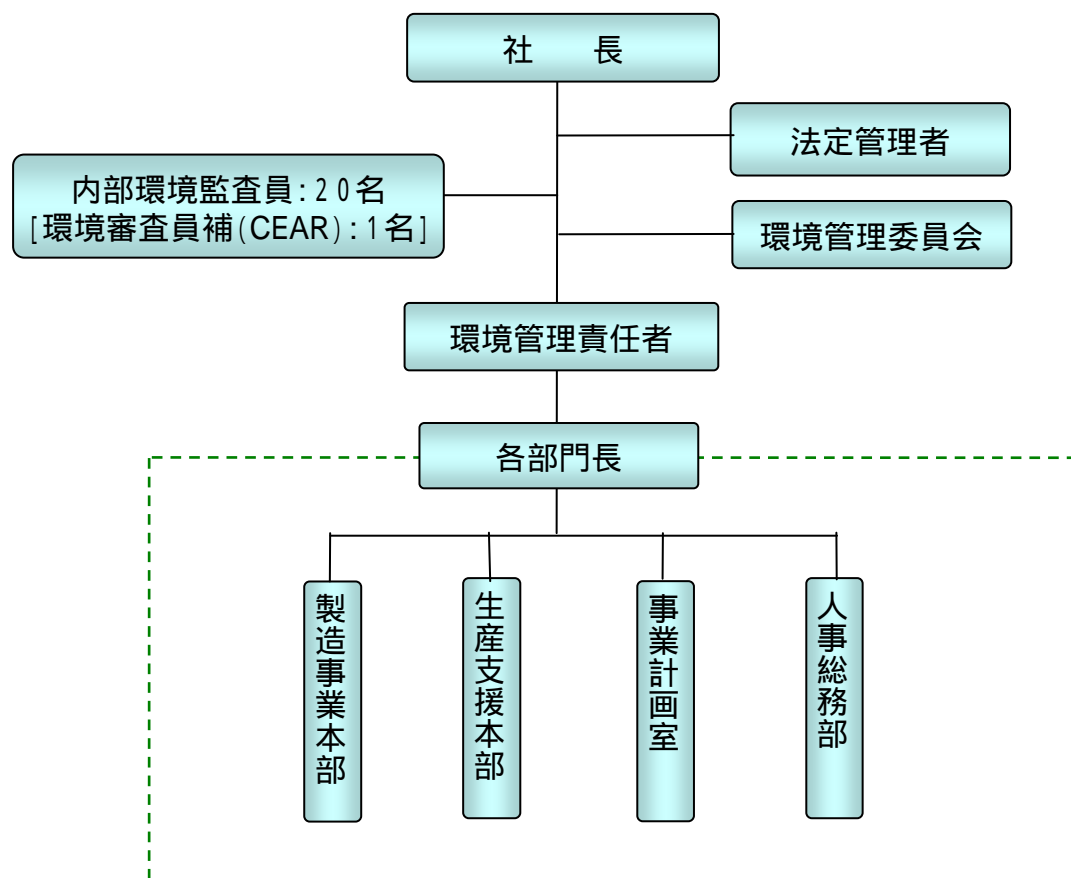
行動指針

- a) 事業活動において、環境に与える影響を配慮した環境管理活動を展開し、地球に優しい事業活動の実践と商品の提供に努める。
- b) 継続的な環境改善と汚染の予防に努める。
- c) 環境に関わる法律・規則の遵守はもとより、当社が同意するその他の要求事項を考慮した自主管理基準値を設定し、環境活動の向上に努める。
- d) 本方針遂行のため、環境目的および目標を設定し定期的に見直しを行う。
- e) 本方針を環境マネジメントシステムにより、実施し、維持するとともに、全従業員にこれを周知する。
- f) 本方針は、社外から要求された際には開示する。

2010年 4月 1日 代表取締役社長 加登 達也

環境管理推進体制

環境マネジメントシステムの維持・改善を進めるため、社長を頂点とした環境管理組織を構築し、活動に取り組んでいます。



環境管理委員会

環境管理責任者を委員長、各部門長を委員とした環境管理委員会を組織し、全社及び各所属の実行計画の進捗状況の確認、様々な問題の解決や先進性のある提案等継続的な環境保全活動の推進を行っています。

環境監査

環境経営の実施状況を自主的に評価するための内部環境監査・内部環境法規制順守評価を毎年実施し、さらに客観的な評価を得るために、第三者及び第三者による代替審査(NEC環境経営監査等)、順法性監査を定期的に受審しています。2009年度も環境に大きな影響を及ぼすシステム違反、ならびに環境法規制違反はありませんでした。

環境負荷概要






当社は、著しい環境側面（環境に大きな影響を与える要因）を特定するために、1回/年環境影響評価を実施しています。その結果、著しい環境側面として挙げられた項目は、環境目的・目標に掲げ取り組んでいます。

右図は、2009年度実績の概要図であり、環境影響評価により抽出された主な環境負荷をまとめたものです。

当社は、環境負荷低減活動に日々取り組んでいます。






2009年度エネルギー使用量
原油換算 1,413 キロリットル

INPUT

| | | |
|---|-----------|----------------------|
|  | 購入電力 | 4,449 MWh |
|  | 重油 | 231 キロリットル |
|  | コピー・EDP用紙 | 3.3 t |
|  | 市水 | 19.8 km ³ |
|  | 化学物質 | 185.7 t |

事業活動

OUTPUT

| | | |
|---|--------------|--|
|  | CO2排出量 | 2,498 t-CO2 |
|  | 排ガス | NOX 0.7 t SOX 0.3 t |
|  | 排水 | 総排出量 19.8 km ³ B O D 3.1 t |
|  | 一般廃棄物(リサイクル) | 40.6 t |
|  | 産業廃棄物(リサイクル) | 129.3 t |

| 目的 | 目標 | 実績 | 評価 |
|---------------------------------------|----------------------------|----------------------|---------|
| 資源循環 廃棄物の排出量削減 | 廃棄物削減 実質売上高原単位 | 2005年度対比 67%削減 | 68.4%削減 |
| | 排出物分別の徹底 | 分別率100%の徹底 | 100% |
| 資源有効利用 資材梱包仕様の見直し 通箱化 VOC対象物質削減 | 資材梱包仕様の見直し 通箱化 | 総資材件数 71%通い箱 | 75% |
| | VOC対象物質排出量削減 | 2002年度対比 68%削減 | 68%削減 |
| リスクミニマム 環境汚染物質の流出事故防止 | 著しい環境側面事故 「0」件 | | 「0」件 |
| | 自主管理基準の遵守 | 全管理項目自主基準値内 | 基準値内 |
| | 製法、化学物質、設備導入、アセスメント | 100%実施 | 100% |
| 地球温暖化防止 CO2 削減 | エネルギー由来CO2排出量削減 | 2005年度対比 -3%以下 | -5.5% |
| | 照明系エネルギーの削減 | 蛍光灯安定器の交換 60台 | 60台 |
| | 各フロア-電力使用量削減 | 2008年度対比 1%削減(CO2換算) | 8.9%削減 |
| | 損失コスト低減 | 2008年度対比 -10%削減 | -17%削減 |
| | 輸送エネルギー削減 | 臨時便使用 0便 | 「0」便 |
| グリーン化 鉛半田全廃 RoHSコンプライアンス確実性の向上 | RoHSコンプライアンス確実性の向上 | 遵法違反発生件数 0件 | 「0」件 |
| | 含有化学物質管理体制の構築完了 (SVHC情報管理) | | 完了 |
| | SVHC情報の収集 | 60% | 63% |
| 地域貢献 近隣クレーム0件 社会奉仕活動 | 近隣クレーム | 「0」件 | 「0」件 |
| | ステークホルダーへの貢献 | 貢献活動100%実施 | 100% |
| コミュニケーション環境意識啓発 | 高環境意識層(イクセルス層)の拡大 | 高環境意識層 98%以上 | 98% |

1. 排出物分別 100%

実績 100%

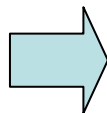
各職場毎に排出物収集箱を登録し、分別区分の遵守・日常点検・監視指導の積み重ねにより目標達成しております。



2. 廃棄物削減 実質売上原単位 2005年度対比 67%削減

実績 68.4% 削減

エコバンドの使用拡大、資材梱包箱の通い箱化促進等廃棄物削減に結びつく活動を推進しております。

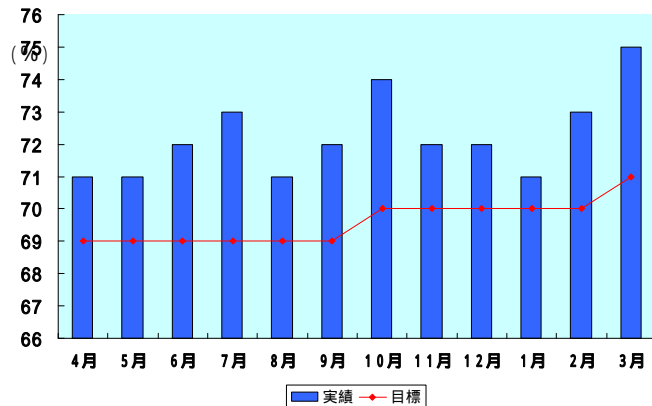


1999年より
ゼロエミッションを
継続しています。

1. 資材梱包通い箱化 71%以上

実績 75%

部材の納入に、段ボールを使用していましたが、プラスチックトレーの通い箱に変更し、何度も使用することで、段ボールを無くし、環境負荷を軽減する活動に取り組んでいます。取引業者様のご協力もあり、目標を上回る実績で推移しています。



2. VOC対象物質使用量削減 2002年対比 68%削減

実績 68% 削減

半田付け治具洗浄液の交換頻度を改善し、VOC(揮発性有機化合物)の使用量を削減しました。



1. 著しい環境側面事故「0」件

実績「0」件

著しい環境側面を持つ設備や工程の管理をしっかりと行い、事故の発生防止に努めた結果、事故の発生はありませんでした。

2. 自主管理基準の遵守

実績 自主基準値オーバー無し

| 測定項目 | 測定頻度 | 評価 |
|--------------|------|----|
| 公共污水弁(7項目) | 毎月 | 良好 |
| ボイラー排ガス(3項目) | 2回/年 | 良好 |
| 騒音(4箇所) | 1回/年 | 良好 |
| 振動(4箇所) | 1回/年 | 良好 |

法令で定められた規準より厳しい規準を自主的に設け、その管理値以内になるよう管理活動を行っております。
2009年度は、自主管理基準を超えた項目は、発生しませんでした。

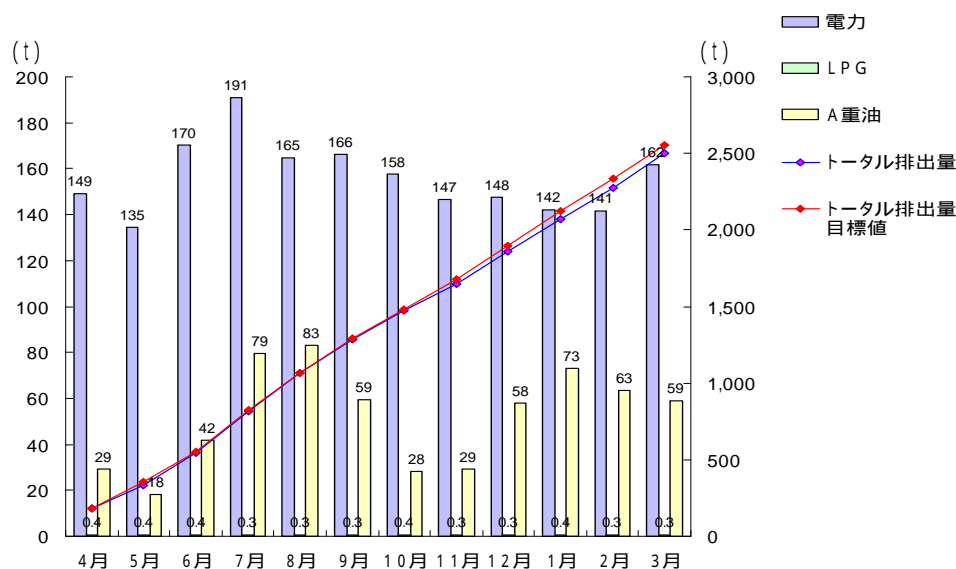
3. アセスメント 100%実施

実績 100%実施

新たな製法を取り入れる前、新規の化学物質を使用する前、新しい設備を導入する前、それぞれにおいて、事前にアセスメントを実施し、環境に対する評価を行っております。

1. CO2削減 2005年度対比 - 3%以下 (絶対値)

実績 2005年対比 - 5.5%



2009年度 CO2削減目標・実績対比グラフ

2. 蛍光灯安定器交換 60台

実績 60台

蛍光灯の安定器を省エネタイプのものに交換し、消費電力の削減に取り組んでいます。

3. 各フロア-電力使用量2008年度予算対比1%削減

昼休み時間中の消灯や定時後の必要箇所以外の消灯の徹底を行っています。
パソコンのディスプレイを離席時や休憩時の電源オフを徹底し、電力使用の削減に取り組んでいます。

実績 2008年度対比 10.5%削減

4. 損失コスト低減 2007年度対比 30%削減

実績 2007年対比 48.6%削減

5. 輸送エネルギー削減 臨時便ゼロ

実績 臨時便ゼロ

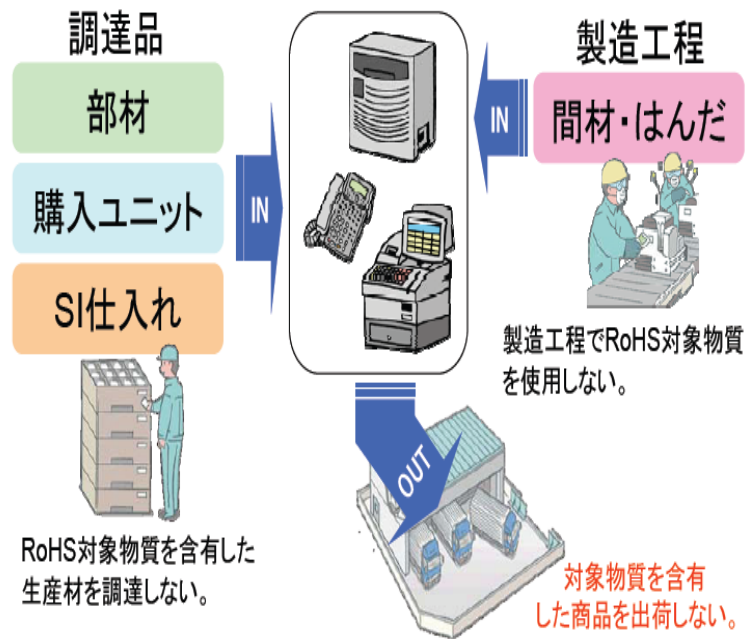
2009年度活動報告 6. グリーン化

1. RoHSコンプライアンス確実性の向上

違法違反発生件数 0件

実績 0件

対象物質を含有した商品を出荷しないためには、調達品と製造工程から排除しなければなりません。



2. 2008年度生産品の鉛フリーはんだ化

新規品 100%適用

実績 100%

鉛フリーリフロー更新
VOC対応スプレーフラクサを導入しております



会社周辺の除草を1回/年実施しています。

クリーン作戦と称して、会社構内及び会社を取り囲むように通っている道路周辺の除草を社員総出で行っています。側溝のつまりの原因になる砂埃や、落ちているゴミなども取り除きます。



2009年6月10日 クリーン作戦

白石サンキューロードプログラムの締結

行政とのタイアップにより、会社周辺道路、新幹線駅前道路の整備、プランターの設置を行い、サンキューロードとしての認定を受け、会社をアピール



地域清掃奉仕活動を2回/年実施しています。

近接するNECグループのNECトーキン殿と、合同で会社周辺から白石蔵王駅周辺までの、ゴミ清掃を行っています。この活動は、春・秋の年2回実施し、社員の家族も参加して行う、恒例行事となっています。



2009年4月4日 合同地域清掃奉仕活動



2010年3月31日
プランターの植替えを行いました。

アルミ缶回収運動による収益金寄附

2007年度下期NECグループ環境月間行事の一環として取り組みを開始した、従業員及びその家族を対象とした“アルミ缶回収運動”により集まったアルミ缶の売却収益金で、2009年も玩具などを購入し、白石市内の保育園にクリスマスプレゼントとして寄付いたしました。



アルミ缶回収ボックス
従業員玄関、各休憩所に設置



回収したアルミ缶、プラタブ

保育園児にクリスマスプレゼント

2009年12月15日 南保育園にて玩具等受納し風間市長より寄付受納書を授与

皆さんのご協力で空き缶を回収し、今年も白石市内8保育園の園児にクリスマスプレゼントを贈ることができました。ご協力ありがとうございました。

来年も地域社会貢献のため空き缶回収にご協力をお願いいたします。



加登社長から白石市長へ贈呈

「家庭で廃棄されるアルミ缶を回収しクリスマスプレゼントを贈ろう」をスローガンに
2010年もがんばります。

環境コミュニケーション

地域内のISO14001認証取得企業8社によるエコフォーラムを6回/年実施し環境関連の情報交換を行っています。

2006年度から、エコフォーラムで作成したパネルを白石市主催「健康福祉まつり」などに展示また、小学校への出前環境教育を行い環境活動を紹介しています。



エコフォーラム開催風景



情報交換と地域社会貢献活動が評価され「リデュース・リユース・リサイクル推進協議会協会会長賞」を受賞



「健康福祉まつり」でのパネル展示の様子
(2009年度はインフルエンザ対策のため中止)



2009年12月2日 小学校への出前教育

教育・訓練

緊急事態対応訓練

環境に関する緊急事態として下記の2項目を特定しています。

**ボイラー
排ガスの濃度異常**

**重油タンク
重油漏れ**

緊急事態を想定して対応処置訓練を各1回/年行っています。



災害防止教育

災害を防止するための教育を1回/年行っています。



地震・火災避難訓練

毎年6月、県民防災の日に合わせて、地震による火災発生を想定した防災避難訓練を実施しております。



環境会計

生産活動における環境保全のためのコストとその活動により得られた効果を認識し、可能な限り定量化することにより、効果的な環境経営を進めていきます。

| 項目 | | | 環境投資額 (千円) | 環境費用 (千円) | 経済効果 (千円) | |
|---------------|---------------------------------|------------------------|---------------|--------------|--------------|-------|
| 大分類 | 中分類 | 細目 | | | | |
| 事業エリア内 コスト | 地球温暖化防止 (温暖化防止、オゾン層破壊防止、その他) | | 3,270 | 7,920 | 650 | |
| | 資源有効活用 (化学物質、紙、水、包装材、廃棄物削減) | | 0 | 0 | 28 | |
| | 資源循環活動 | 資源循環活動 (廃棄物の再資源化) | | 0 | 21,390 | 3,041 |
| | | 廃棄物処理費用 (廃棄物の適切な処理) | | 0 | 0 | 0 |
| | リスクミニマム | 公害の防止 | | 0 | 24,848 | - |
| | 合計 | | | 3,270 | 54,158 | 3,719 |
| 上・下流コスト | 環境配慮型商品の設計・開発、グリーン調達 | | 0 | 2,667 | - | |
| | 使用済み商品の処理 | | 0 | 0 | - | |
| | 合計 | | 0 | 2,667 | - | |
| 管理活動コスト | 環境マネジメント活動 | | 0 | 19,742 | - | |
| | 環境教育・啓蒙 | | 0 | 1,235 | - | |
| | 合計 | | 0 | 20,977 | - | |
| 社会活動コスト | 社会貢献 | | 0 | 6,345 | - | |
| | コミュニケーション | | 0 | 565 | - | |
| | 合計 | | 0 | 6,910 | - | |
| 環境損傷対応コスト | 環境損傷対応 | | 0 | 0 | - | |
| 合計 | | | 3,270 | 84,712 | 3,719 | |

1. 環境負荷低減目標

| | 環境目的 | 環境目標 |
|-------------|--------------------|---|
| 資源循環 | 廃棄物の排出量削減 | 廃棄物排出量の削減 348kg/億円以下(実質売上高原単位) (2005年度対比 -69%) |
| | | 排出物分別の徹底 分別率 100%の徹底 |
| 資源有効利用 | 資材梱包仕様の見直し 通箱化 | 資材梱包仕様の見直し 通箱化 総資材件数 72%通箱 |
| | VOC対象物質削減 | VOC対象物質(質量)排出量削減 2,295kg/年以下(絶対値) (2002年度対比 -69%) |
| リスク ミニマム | 環境汚染物質の 流出事故防止 | 著しい環境側面事故「0」件 |
| | | 自主基準値の順守 全管理項目自主基準値内 |
| 地球温暖化 防止 | CO ₂ 削減 | エネルギー由来CO ₂ 排出量削減 2,454t/年以下(絶対値) (2005年度対比 -7%) |
| | | 各フロアー電力使用量削減 2009年度対比 1%削減 (CO ₂ 換算) |
| | | エネルギー由来CO ₂ 排出量削減 100kg/m ² 以下(延床面積原単位) (2009年度対比 -1%) |
| | | 損失コスト低減 (製造品質自責分) 2009年度対比 15%削減 |
| | | 輸送エネルギー削減 臨時便、引取り便使用「0」便 |

2. 環境貢献度向上目標

| | 環境目的 | 環境目標 |
|--------------|-------------------|--------------------------------------|
| 環境影響物質 削減 | 製品含有化学物質 対応力強化 | SVHC情報の収集 80% |
| 地域貢献 | 近隣クレーム「0」件 | 近隣クレーム「0」件 |
| | 社会奉仕活動 | ステークホルダーへの貢献 貢献活動 100%実施 |
| コミュニケーション | 環境意識啓発 | 高環境意識層(エコ・エクセレンス層)の拡大 高環境意識層 100% |

環境管理活動の主なトピックス

| | |
|-------------|----------------------------------|
| 1999年 | ISO14001認証取得 |
| 2000年 | 生ゴミ処理機導入 |
| | ボイラー交換 (炉筒煙管 小型貫流) |
| | 照明器具のインバーター化推進 |
| 2001年 | 下水道接続 |
| | 重油地下タンクの地上化 |
| | 一般 / 産業廃棄物の ゼロエミッション達成 |
| 2002年 | 環境教育で工場公開 |
| 2003年 | 化学物質の使用量減による 環境負荷軽減 (PWB生産停止) |
| 2004年 | NEC環境法遵守監査受審 |
| 2006年 | コンプレッサーの入れ替え |
| | 工程排水処理施設の解体 |
| 2007年 | RoHS対応開始 |
| 2008年 上期 | エコバンドでの輸送開始 |
| | 製品梱包箱寸法変更輸送効率改善 |



環境管理活動の主なトピックス

2008年
下期

発泡スチロール減容機

部品の梱包材として工場に持ち込まれる大量の発泡スチロールは、**産業廃棄物**として年間85回も中間処理場まで運搬し処理していましたが、**発泡スチロール減容機**を導入し**樹脂のインゴット**にすることにより、体積を1/100にして**有価物**として売却しております。



減容機へ
投入



1/100に減容



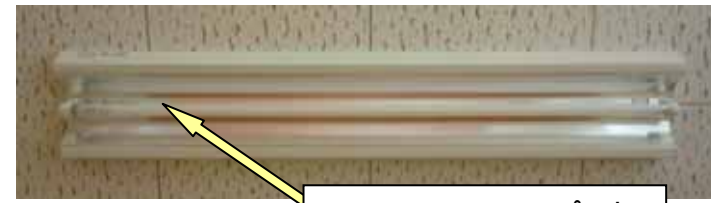
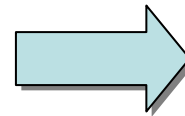
2009年
下期

省エネ照明器具 AILINE (アルライン) の採用開始 (NECライティング(株))

Hf蛍光灯、高効率のインバータ、光学設計された反射率94%のアルミ反射板を使用することにより、従来FLR40Wランプ2灯用逆富士形器具からFHF32Wランプ1灯でほぼ同じ明るさを確保しています。消費電力は47%の省エネ、ランプの廃棄も半分となり省資源です。



FLR40Wランプ2灯



FHF32Wランプ1灯



渡り鳥の舞い降りる川にしよう！

写真：地域清掃活動

本報告書の内容や当社の環境保全活動についてご意見ご質問等ございましたら下記までお問合せ下さい。

NECインフロンティア東北株式会社

〒989-0294

宮城県白石市旭町6丁目1番地

ホームページ

<http://www.necinfrontia.co.jp/tohoku/>

発行

2010年 6月

お問合せ先

人事総務部 環境安全課

Tel : 0224-25-1383

Fax : 0224-25-1227